

目標達成計画

作成日: 令和 2 年 11月 1日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	48、49	活き活き暮らすことは出来ていても入居者の希望を一人ひとり叶えるには人員の問題や本人の抱える状況によりホーム側からのお出かけは出来ても本人希望のお出かけ援助はなかなか難しくかなえてあげられていない	一人ひとりの希望を聞き、可能な限り計画の中に盛り込み希望を叶えてあげられるようにする。またご家族様のご協力を得ながらホームだけでなく共同で叶えられる努力をする	生活や会話の中から全員の希望を探しそれに対し年間計画に入れ込み個別対策を立てていく。心身状況に合わせ対応する。場合によりご家族様の協力を得て可能な限り全員個別対応で計画する。	12ヶ月
2	11~14	運営に関することは職員が働きやすく意欲的に行動できる環境を整える事が一番大切な事でサービス向上の一番の近道であることは十分把握しているが人材不足等により思った行動がとれていないのが現状です	職員一人ひとりに目を向け声を聴き事業所全体のレベルアップにつなげたい	できる限り個人的に傾聴時間を作り面談等含め細かな情報収集を行い、早期に問題解決に向けた取り組みを行う。会議などは頻繁に行っているが、それ以外での発見を事業所全体の取り組みに活かせるように計画していく	12ヶ月
3	38	日常生活に関しては利用者様の生活の質を大切に行っているものの職員が利用者と一緒に過ごす時間をとるところまでの時間を作ることが業務中なかなか出来ていない	一日の業務をこなしながらも、少しでも利用者様と共に行える時間を作り心に寄り添う環境を作る	業務内容の工夫と見直しを図り、個々に職員との関わりの時間を持って利用者様の心の安定と信頼性の充実を図るよう計画する	12ヶ月
4	40	家族や医師とも相談し食事形態も個々にあったものを提供している。希望を聞き食べたいものなどがあればメニューに組み込んでいるが、楽しみの1つでもあった食事作りの機会が減っているのが現状である。	食事作りを一緒に行う事で共に生活しているという実感、また一緒に作る事で会話も増え、そこから食べることの楽しみも感じて頂ける様にする。	一緒に調理できそうなものをもう少しメニューに組み込んでいくようにする。その時の様子をしっかり記録に残し情報を共有することで、個別で出来そうなことや会話等から本人の食事に対する希望を聞き食事を楽しんで頂けるようにしていく。	5ヶ月
5					ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入して下さい。